

令和3年3月3日

川辺町議会議長 平岡 正男 様

川辺町議会議員 桜井 真茂

令和3年川辺町議会第1回定例会一般質問通告書

以下のとおり通告します。

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 質 問 名 | <u>町長5期20年間の評価について</u> |
| 2. 回答を求める先 | <u>町長</u> |
| 3. 質問の概要 | |

佐藤町長とは町議会議員として初当選が同じで、ともに2年間議員として活動しました。

2年後町長選挙に出馬され、私も含め当時の町議会議員が応援し、見事全国最年少の町長として当選され、今日まで活躍されておられます。

そこでお尋ねいたします。

1. 職員約100人のトップとして、いつも危機管理体制は取れていましたか。
2. 自身の20年間を振り返り、このような事ができたとアピールできることがあればお聞かせください。
3. 国・県や経済界とどのようなパイプがあり、どのように町政に活かすことができたのか、お聞かせください。

令和3年3月18日

令和3年川辺町議会第1回定例会一般質問答弁書

- | | |
|----------|------------------------|
| 1. 質問名 | <u>町長5期20年間の評価について</u> |
| 2. 質問議員名 | <u>桜井真茂議員</u> |
| 3. 答弁者 | <u>町長 佐藤光宏</u> |
| 4. 答弁の概要 | |

1. 危機管理体制について

職員100人のトップとしてより、川辺町民1万人のトップとして、町民の安全・安心を第一に、自然災害・生活安全・防犯等に心を砕いてきました。

自然災害では、防災備蓄倉庫設置、避難所の非常用電源やマンホールトイレ・避難者用テント配備、小中学校や山川橋の耐震補強、他市町村に先駆けての小中学校空調整備など。

生活安全では、老朽化した消防詰所の建て替え（1分団2部、2分団2部、3分団2部）や消防車更新、AED設置など。

また、恐喝、暴行、連れ去りなど、凶悪な犯罪に備えて、年3回、警察・消防・交通安全協会・区長会・防災の会・校長会・福寿会・女性の会などの代表者の方々と意見交換する、生活安全推進協議会を開催しています。また、街頭に防犯カメラを設置し、子どもの見守り・交通事故の抑止などに努めています。

最近のコロナ禍では、近隣市町村にも例のない、おうちごはん券、かわべ応援商品券、事業継続追い風助成金、学生応援給付金、水道基本料金免除など、地方創生臨時交付金を活用して、町民皆様へ8弾に及ぶ新型コロナウイルス対策を実施してまいりました。

2. 20年間でアピールできること

第1に子育て・教育です。第3こども園・児童館・子育て支援センターの建設、児童クラブ4か所開設、発達障がい児支援施設「おおぞら教室」・子育て世代包括支援センター「ぷらっと」の設置、小中学校4校の耐震補強・空調完備、中学校体育館新設、中央公民館図書室建設などが挙げられます。

第2に福祉事業です。川辺西タウン3棟78戸、川辺東タウン2棟48戸、合計126戸の新設、北部公民館竣工、高校生までの医療費無料化など。

第3に自然災害・生活安全・防犯等については先ほどお答えいたしましたので、重複は避けます。

第4に道路・河川などの基盤整備です。国道41号美濃加茂バイパス、完成が待たれる県道可児金山線、工事着手された主要地方道美濃川辺線、関街道踏切拡幅など。また水無瀬川・飯田川改修などは洪水対策に効果を上げています。これらは国・県・町との連携のもとに改築されたもので、美濃加茂バイパス川辺鹿塩インター名古屋方面上りランプや、関街道踏切拡幅のための国道41号嵩上げ工事は、当時の金子一義国土交通大臣に直接、要望し、実現しました。また、目立たない事業ではありますが、流域下水道全町整備も挙げておきたいと思います。生活環境、公衆衛生の向上のために必要な事業であります。

第5にスポーツ環境、川辺町を代表するボート競技に関わる事業です。平成24年の「ぎふ清流国体ボート競技会」は、私にとって忘れられないものとなりました。1,000人のボランティアの方々が、全国からの選手団を温かく出迎え、もてなし、選手たちも川辺ダム湖のすばらしい環境に満足していました。平成18年に開通した左岸遊歩道は、監督・コーチの自転車道として活用され、選手達にメガホン越しで熱い声援・アドバイスが飛ばされます。その前年には、プレ大会として、第31回全国中学選手権競漕大会が開催され、新築された艇庫が大きな役割を果たしています。

私自身は、平成20年から3年間、全国ボート場所在市町村協議会の会長を、平成26年から2年間、岐阜県ボート協会会長を務めています。

3. 国・県・経済界とのパイプと町政について

国では、渡辺猛之参議院議員の後援会「孟志会」に所属しています。国体に向けての新艇庫建設の際、県との交渉に随分お骨折りいただきました。また、私の後任として、岐阜県ボート協会会長に就任いただいております。東京出張の折は、参議院議員会館へ必ず伺っておりますし、地元議員ということで、金子俊平衆議院議員へも、御挨拶に伺っています。また先ほども申し上げましたが、父君の金子一義前衆議院議員が国土交通大臣在任中に、国道41号美濃加茂バイパス川辺鹿塩インター名古屋方面のぼりランプ、関街道踏切拡幅のための国道41号嵩上げ工事の要望を受け入れていただきました。

県では、5選を果たされた古田肇岐阜県知事とは、プライベートではありますが、知事と町村長とのゴルフコンペで3度、同じ組で回っております。その時に、要望ではありませんが、大雨の時、水無瀬川が溢れそうで困っている話をしたら、県事業で水無瀬川改修がなされたので、もしかすると、知事のお声がかりであったかもしれません。また、梶原拓前岐阜県知事には、山口治太郎前美浜町長から頼まれて、美浜名産「へしこ」をお届けしたことがあります。岐阜県女性の会総会が川辺町中央公民館で開催されたとき、来町された知事から直接お礼の言葉を頂戴して恐縮した覚えがあります。

国民健康保険団体連合会の近田和彦常務理事は、皆さん御存知の元川辺町助役であり、その後、健康福祉部長などを歴任されましたが、毎年「川辺おどり花火大会」「川辺ふれ愛まつり」には欠かさずおいでになり、情報交換をしております。

経済界では、岐阜県商工会議所連合会の村瀬幸雄会長は、十六銀行の頭取ですが、高校時代の同級生で、同じクラスでもあったので、ゴルフを何度か御一緒しております。高校の夏休みに、一緒に伊豆旅行に行ったことを、懐かしく思い出します。十六銀行古井支店は川辺町役場に協力的で、毎年、名古屋で開催される四水会で、支店長が川辺ブースの売り子を務めてくださったこともあります。

昨年、惜しくも御逝去された土屋嶋大垣共立銀行会長は、私の前任の岐阜県ボート協会会長でした。川辺町役場へお越しになり、「後を頼む」とおっしゃった言葉を今でも覚えています。大垣共立銀行女子ボート部は「ぎふ清流国体」で活躍し、川辺町には同銀行の艇庫もありました。川辺町の基幹金融機関の一つであることは御承知のとおりです。

以上、交友関係の一端をお話ししました。

人と人の距離は、遠くなく、近くなく、ほどほどがよいのではないかと思います。自己の利益を求めるがあまり、性急に構築しようとすればするほど、遠ざかってしまうのかもしれません。